

第5 学年道徳科学習指導案

- 1 日 時 平成28年10月20日（木）5校時 13:35~14:20
- 2 場 所 第5学年1組教室
- 3 学年・学級 第5学年1組 32名
- 4 主 題 名 「ペットの命を守る」 3-（1）生命尊重
- 5 資 料 NHK for School 5・6年生道徳 「オンマイウェイ」～ペットの命を守るには?～
- 6 主題について

（1）ねらいとする価値

本主題では、「主として自然や崇高なものとのかわりに関すること」の価値を扱う。高学年になると、様々な人々の支えによって一人ひとりの生命が育まれることを理解し、生命のかけがえのなさをより深く理解するようになる。そこで、人間だけでなく、自然や動物にも同じように生命があり、尊いものであると感じられる心情を育てるようにしたい。

本時では「動物の命を大切にすること」について、児童に考えさせたい。これまでの道徳の学習の中で、児童は自分や、他人の命について考えることを経験している。命はほかに替えのきかない尊いもの。尊いからこそ、自分の命も、他人の命も大切にしていかななくてはならないと学んできた。今回の学習では児童にとっても身近なものであるペットの命について考えることを通して、動物の命であっても、人間の命と同じように大切に、尊重しようとする心情を育めるようにしていきたい。

（2）児童観

本学級の児童は、以前に「オンマイウェイ～動物と生きていくためには～」の題材で、「生命尊重」について学んだ。この題材では、野生の動物の命を大切に扱うことの他に、人間の生活を維持するために野生の動物の命を奪わなければならないという事実も存在することを知った。学習後の振り返りには、人間の事情を理解したうえでも、「動物の命の方が大切なのではないか？」という意見が多く見受けられ、動物を大切にしようとする児童が多いことが分かった。普段の生活の中でも、教室で飼育している生き物に興味をもって観察したり、家で飼っているペットの話を友だちと楽しそうに話したりする姿がよく見られる。

しかし、これまでの学習で社会的な課題に目を向ける機会は少なかった。本主題の学習が、自分たちの身の回りだけでなく、視野を広げて課題を捉えるということが大切であると教えたい。「ペットが簡単に捨てられている現状」を知ることが、動物の命についてより深く考える機会になってほしい。

（3）資料について

今回の資料は、動物愛護センターで働く獣医が登場する。獣医の仕事を通して、日々多くのペットが捨てられてセンターに保護されていること、センターで働く人々はこうしたペットが一匹でも多く飼い主に引き取られることを願い奮闘していることを知ることができる。センターの人々は、人間より弱い存在であるペットの命を、尊重していることがうかがえる。

それと同時に、センターの獣医が引き取り手のいないペットを「殺処分」している事実も知ることになる。一匹でも多くの命を救おうとしている人々が、やむを得ず命を葬らなければならない事がどんなにつらく、葛藤して行っているのかを児童に考えさせたい。

ペットの命を大切にしている前野さんの姿をみせることが、ペットだけでなく動物の命についても深く考えるきっかけになるようにしたい。

7 本時の指導

(1) ねらい

○ペットの命も、人間の命と同じ尊いものであることに気づき、命を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

	学習活動と内容 ☆主発問 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点
導入 (10分)	<p>①本時で扱う主題を伝える。 「ペットの命を守るためには、何が大切なのだろう？」</p> <p>②ペットが簡単に捨てられている現状を知る。 「引越すから飼えなくなった。」 「しつけが上手くいかないから。」 「かわいくなかった。」</p> <p>③動物愛護センターで働いている前島さんの仕事を紹介する。</p> <p style="text-align: center;">VTR 視聴 ①</p>	<p>○タブレットでペットの画像を写し、今回のテーマが自分たちの身近なものであることが感じられるようにする。</p> <p>○タブレットを使用し、捨てられている理由を紹介する。</p> <p>○OVTR に登場する前島さんについて簡単な紹介をした後に、視聴させるようにする。</p>
展開 (25分)	<p style="text-align: center;">ペットの命を守るためには、何が大切か考えよう</p> <p>④前島さんは、どのような思いをもって仕事に取り組んでいるのかを考え、自分の意見をワークシートに記入する。</p> <p>○どのような思いで、毎日ペットの健康観察をしたり、「譲渡会」を開いたりしているのだろう。</p> <p>・飼い主のいないペットでも、健康に過ごしてほしい。 ・一匹でも多く、飼い主が見つかってほしい。</p> <p>⑤「動物愛護センター」の獣医は、「殺処分」という仕事をしている事実を知る。</p> <p style="text-align: center;">VTR 視聴 ②</p> <p>○どのような思いで、「殺処分」をしているのだろう。</p> <p>・本当は殺したくないのに・・・。 ・人間の身勝手な理由で、死んでしまうペットがいることを多くの人に知ってほしい。</p> <p>⑥考えを発表する。</p>	<p>○「殺処分」という言葉の意味について、児童に考えさせるようにする。</p> <p>○動物を守ることは相反する仕事もしなければならない事実を知ること、社会がペットに対して抱えている問題に気づくようにする。</p> <p>○殺処分をするときの前島さんの表情をタブレットで写し、悲痛な思いで行っていることに気づかせるようにする。</p> <p>○相反する仕事に取り組んでいても、ペットを大切に思う気持ちがあることに気づくように板書を行う。</p>
まとめ (10分)	<p>⑦前島さんの言った「動物の心臓の音は、人間と同じ」という言葉の意味を考える。</p> <p style="text-align: center;">VTR 視聴 ③</p> <p>☆前島さんの言葉には、どのような意味が込められているのだろう。</p> <p>・動物も人間も同じ生き物であることを伝えたい。 ・同じ命をもっている。</p> <p>⑧ペットの命を守るために、自分たちができることを考える。</p>	<p>○言葉通りに受け止めるのではなく、言葉に込められた意味をよく考えるように指導する。</p> <p>○「ペット」だけではなく、「動物」の命として考えが広げられるようにする。</p> <p>○タブレットの「デジタルワークシート」を使って、グループごとに手立てを考えるようにする。</p>

○当日のタブレットの操作

・スカイメニューログイン、授業開始 → 画面一覧 → その他の機能
→ デジタルワークシート（「教材作品」 →自分で作ったシート）